

—あなたの一步を応援します—

ながさきに新たな風を吹かせる挑戦びと、
“トライ人”を紹介するコーナー。
若者からベテラン、
輝くみなさんの挑戦ストーリーとは!?

発見! トライ人

『若者が楽しめる長崎を創る』挑戦

空間づくりユニット
ピオニール
Pionier



公式Instagram
Pionier

トライ年表

2020年 ・2人で初のイベント開催	2021年12月 ・古着と音楽を楽しむイベント 「CHYANOMA」開催、 100人集客する
2021年1月 ・Pionier結成・活動開始	2022年4月 ・ラジオ「砂漠を泳ぐ野良猫」 放送開始
2021年8月 ・夜の海辺のリビングルーム 開催、45人集客する	



あなたの気になるトライ人募集!

市内で新たな一步を踏み出す人、または挑戦を支える「トライ人」を募集しています。自薦・他薦は問いません。市ホームページかはがきでご応募ください。



創造的な遊び場を創り出す

空間づくりユニット

長崎大学の学生の春田さんと衣川さんは「Pionier」というユニットを組んで、「長崎をどれだけ面白くできるか」をテーマに活動しています。若者が参加したくなるようなイベントを企画・開催したり、ラジオ番組で週に1回、2人の感性で選んだ音楽やファッションなどをテーマに放送しています。この番組は昨年、日本民間放送連盟賞で優秀賞を受賞しました。

結成のきっかけは共通の趣味でした。3年前、出会ってすぐに意気投合した2人は1週間後には趣味を生かしたイベントの企画をはじめ、1カ月後に開催。コロナ渦のため、サークルやイベントなどが何もなく、抑圧されていた状況が2人のやる気に火を付けたそう。そんな初のイベントは、夜の長崎水辺の森公園で開催した「夜の海辺のリビングルーム」です。



外にリビングルームを創る、というコンセプトで、人々の交流とエンターテインメントを楽しむ空間づくりに工夫を凝らしました。活動の原動力は若者に長崎を楽しんでほしいという思い。遊ぶ場所が無く「長崎って面白くない」と市外へ出ていこうとする人のために、音楽などのユースカルチャー（若者文化）を使ってみることで楽しむ遊び場を創り出しています。そこでの交流を通して新しいアイデアが生まれることもある。次は4月15日(土)にメルカつきまちでマーケットとパーティを開催するそう。ぜひ行ってみたいいかがでしょうか。詳しくはインスタグラムで。

自由にデザインできる空間

理想のイベント開催場所は、コンクリート打ちっぱなしのような、できるだけ無機質で空白の場所です。一番自分たちの色を出せるため、ワクワクするそう。写真の場所は、4月15日(土)にイベントを開催するメルカつきまちの空きテナント。



「挑戦」に
不可欠な
ものは?

長崎市に住む人、働く人、学ぶ人が互いに“顔見知り”になることを目的とした「井戸端パーティー」。
ホームページでさまざまな交流の場を紹介しています。

中央地域センター ☎829-1418

井戸端パーティー

ホームページ



Instagram



Facebook



井戸端パーティーを活用しているかたをご紹介します！

ナガサキ・フィルハーモニック・クワイヤー



世代を超えて歌で一つに

記事全文は上記ホームページで。

今月の井戸端peopleは、ナガサキ・フィルハーモニック・クワイヤー (NPC) の皆さん。NPCは、市内を中心に活動する混声合唱団です。コロナ禍で長い間、練習ができませんでしたが、歩みを止めずに個人ができることに取り組んで活動を続けてきました。週に1回の練習は和室で行います。親が歌う傍ら、子どもは畳の上で寝たり遊んだりできるので子供連れで参加する人も多いんだとか。

“続けていくことが一番”をモットーに、経験年数は1年目から30年以上、年齢は10代から70代まで、世代も職種も住む地域も異なるメンバーが一つになって歌います。メンバーからは、「歌うことが好きな人が集まり、歌を通じて世代も職種も超えた交流をできることが楽しい！」との声があります。メンバーも随時募集中！

4月15日④には、ココウォークで「井戸端パーティー『混声合唱の演奏会及び体験会』」を開催します。混声合唱のハーモニーを楽しみながら一緒に歌ってみませんか？

わがまち 自慢 調査し隊

水を張って田植えを始める5～6月頃が見頃だよ！
ぜひ行って見てね！



お題

大中尾棚田 (神浦下大中尾町)

“映え”写真が撮りたい？

それなら大中尾棚田に行ってみよう！

日本一の清流にも選ばれた神浦川沿いにある大中尾棚田では、角力灘を眺めることができ、四季折々の素晴らしい風景を見ることができます。

江戸時代に大村藩により開墾されたといわれるこの棚田は、近くに水源が無いため、神浦川上流から約4.2kmに及ぶ水路が造られ、現在も使われているそうです。

また、長崎県で初の棚田オーナー制度が取り入れられ、地域を問わず多くの方が田植えなどを行っています。

秋の収穫後にある火祭りでは、約6,000個の竹灯籠が並び、とても幻想的な景色を見ることができますよ！

まちの自慢を募集！

「広報ながさき」で紹介して欲しい、まちの自慢を募集しています。自薦・他薦は問いません。はがきか市ホームページでご応募ください。



※棚田オーナーの募集は25ページをチェック！